望しています。採択は厳しい状況ですが、今後も粘り強く県に要望していきます。

柳沢北浜地区土地区画整理事業は、本年度分は区画道路の５路線、延長５２１㍍と宅地整地工事１万９２０平方㍍、建物14戸の移転を進めます。

下水道整備については、引き続き長崎、川向、中央、八幡、後楽、北浜地区に管渠を布設します。また、下水道集合処理区域外では合併処理浄化槽の設置を進めていきます。

大規模地震への備えとして木造住宅の耐震診断助成事業を継続し、新たに耐震改修等助成事業を実施します。また、公営住宅では住宅用火災警報器を計画的に設置し、北浜団地は本年度解体する予定です。

橋梁補修事業では嶋田橋の補修を実施し、長林大浦線局部改良事業については、本年度の完成を目指します。

整備が進む町道長林大浦線

水道事業については、山田水源地改良事業と織笠・山田間の耐震管布設事業、柳沢北浜地区の配水管布設事業、豊間根簡易水道の配水管布設替事業を引き続き実施します。

廃棄物処理については、21年度から新たに始まる７種類11品目の分別収集による廃棄物の減量化に向け、宮古地区広域行政組合と連携し取り組んでいきます。また、排出する人それぞれが自覚と責任を持ってリサイクルを進めることが重要と考えますので、引き続き資源循環型リサイクルの意識啓発を図ります。

人と自然が共生する環境の保全については、一人一人が自然の恩恵や人間と環境との関わり合いを理解し、普段の生活や事業活動で環境へ負荷の少ない行動を取ることが重要です。町の環境行政の基本指針である「環境基本計画」を基に学校や地域、家庭などさまざまな機会をとらえて環境学習を推進します。

県が進めている織笠川三陸高潮対策事業、山田・大沢漁港海岸保全施設整備事業の早期完成と、町営織笠漁港の防潮堤嵩上げ工事を国・県事業として実施するよう要望していきます。

国土調査事業は平成19年度に田の浜地区が終了し、本年度は小谷鳥地区の３３７筆、49万平方㍍の地籍調査を実施します。

## 健やかで、安心できる暮らしの実現で元気創造をめざすまち

# 病児・病後児保育事業を支援

健康づくりの推進については、循環器検診における肥満者の割合や糖尿病の検査項目での要注意・要医療者が増加傾向にあることから、保健指導を充実し、生活習慣病の予防に努めます。また、子供たちも虫歯や肥満傾向にあり、生活習慣・食習慣の基礎づくりや食育推進計画に基づいた食育事業を推進し、心身ともに健やかな子育てができる環境づくりに努めます。

疾病構造の変化や高齢化によって医療に対する需要は複雑かつ多様化し、診療体制の充実が望まれています。県立宮古病院はもとより、山田病院においても医師確保は懸案事項であり、地域総合病院として十分な機能が発揮されるよう、医師確保を引き続き要望していきます。

子育て支援事業は、支援センターを中心とした育児相談、すくすく広場の開催や子育てサークルの支援などを行っていますが、ホームページやガイドブックなどを通して子育てに関する情報の発信や子育て支援の普及・啓発に努め、山田町次世代育成支援計画に基づく支援事業を推進していきます。中高生を対象に赤ちゃんふれあい体験事業を実施し、育児知識の向上に努めます。また、本年度より山田町第一保育所で実施される自園型の病児・病後児保育事業を支援します。

絵本を通じて親子の絆とコミュニケーションを深めるため、おはなし広場ボランティアによるブックスタート・絵本の読み聞かせ事業で絵本などをプレゼントし事業の充実に努めます。

すくすく広場の様子

子供を安心して生み育てることができる地域社会を構築するため、山田南小学校と関口児童館、轟木児童館の放課後児童クラブで親が就労する家庭での子育てを支援します。このほか、要保護児童対策地域協議会や宮古児童相談所と連携し、児童の虐待防止および相談体制の充実に努めます。

一人暮らしおよび高齢者のみの世帯が増加する中で、高齢者や障害者などの日常の安否確認のため「見守りネットワーク」事業を推進するとともに、高齢者を対象にした認知症予防教室や転倒予防教室を実施します。また、認知症や知的障害などで判断能力が十分でない方を支援するため、成年後見制度の利用とその普及・啓発に努めます。

介護サービス基盤の充実については、地域包括支援センターを核とした予防給付、地域支援事業などの介護予防を進めながら住み慣れた地域での生活が継続できるよう、小規模多機能型居宅介護サービスなどの地域密着型サービスを推進していきます。また、障害者福祉については、平成18年度に策定した障害者福祉計画に基づき、地域で自立した日常生活、社会生活ができるよう支援していきます。





消防・防災対策の充実については消防署と消防団の連携を強化し、団員の確保と資質向上に努めるとともに、第１分団の消防ポンプ自動車と消防署の高規格救急車を更新し、石峠地区に防火水槽を築造します。

災害有事の際に迅速かつ円滑できるよう支援していきます。

## 手をつなぎ、未来への芽をはぐくみ元気創造をめざすまち

# ＡＥＤを全小中学校に配備

近年、個々の生きがいづくりや充実した生活を送るため、生涯にわたってさまざまな学習活動に取り組む意欲を持つ町民が増え、そのニーズも多様化しています。また、学習活動を通して身に付けた知識や技術などを社会生活の中で生かしたいという要望も高まってきています。

人生を豊かにする生涯学習の推進については、町民一人一人が生涯を通して自分に合った学習機会を自由に選択し、自発的に学習して人生をより豊かにすることが求められています。

このため、行政と関係機関が連携・協力して生涯学習事業を推進し「いつでも、どこでも、だれでも」各種学習機会に接することができるよう、生涯学習情報の提供に努めます。

社会教育の充実については、青少年から高齢者まで生涯の各時期に対応した学習機会を提供・支援し、家庭教育学級、ふるさと体験塾や女性セミナー、各公民館での各種学級、講座の開設に努めます。

児童・生徒の学力向上のため、全小中学校に整備されたコンピューターを活用した情報活用能力の向上に努めるとともに、新学校図書整備計画により学校図書を整備します。また、山田高等学校の魅力ある学校づくりへの支援と中学校と高等学校の交流の促進を図るため、中高連携体制を推進していきます。

学校施設整備については、昨年実施した学校建物耐震診断の結果に伴う小学校５校の補強工事と大沢小学校の体育館屋根補修工事を実施します。また、昨年度小学校３校と中学校２校に配備したＡＥＤ（自動体外式除

船越小に設置されたＡＥＤ